

神奈川県環境農政局長賞

「ごはんを残さず食べる」

大和市立中央林間小学校

6年 岡本 泰資

ぼくは最近朝ごはんを残す。特にご飯を残す。

「最後まで食べなさい！」

とお母さんよりお父さんによくしかられる。でもそんな時は、「朝からそんなに食欲ある子ばかりいるのかな」とか「子どもにはすぐ食べたいと思う時とそうではない時がある。今は食べたくない時なだけ」と自分の中でオツケーを出している。なんでわかってくれないのかと。全く食べずに行くわけではないし、なんでそんなに残すな残すなっと言わなくても良いと思う。

お母さんがつくってくれている朝ごはんがまずいわけではない。お母さんがしからないのはおかずに足りないから食べられないの、と思っていたらごめんさい。おかずにはないと言えるのは、となりでお兄ちゃんをよく食べているから。兄ちゃんが、

「泰資はなんであんなに残すのかな。食べられるありがたいかみとかもつと知った方がいいよね。」

「ありがたみね…」

よく聞こえなかったけどお母さんと話していた。ぼくは学校の給食はほとんど残したことがないしおかわりもよくしている。でも、やっぱり家のごはんは残してしまう。

「なんで朝からそんなによく食べるの？」とお兄ちゃんにそれとなく聞いてみた。

「泰資がお正月に入院したときお母さんも病院に泊まって付きっきりのときかな。」

と、ぼくの入院の話を出してきた。ぼくはけがをして二週間入院したことがあった。その時お兄ちゃんはお父さんと二人きり、朝晩のごはんの準備も二人で協力してやっていた。その時、ごはんを炊く係はお兄ちゃんだった。そして毎日座って待っていたらごはんがでてくる生活がとてもありがたいことだと言うことに気づいたみたいだ。

「泰資のけがの功名。」

だと、それとこんなことも言っていた。

「おばあちゃんに送ってもらおうお米かな。」

お兄ちゃんはおかずでごはんを食べるのではなくて、ごはんの味でごはんが進むと言っている。ぼくはごはんの味まで考えて食べたことがなかった。ごはんにも味がある。

「あとは自分でごはんをよそうこと」

残すのはよくないから食べられる分をきれいに食べることから始めたらしい。お兄ちゃんがお兄ちゃんらしく見えた。

「あとは早寝早起き、運動」

夏休みだしけがも治ったことだし朝、ジョギングでもしてみたらとお母さんに言われた。食べられることに感謝する↓ごはんを残さず食べる↓自分でごはんをよそう（お手伝いにもなる）↓運動する。「ごはんを残さず食べる」ことだけでこんなに広がる、奥が深いなと思った。走りに行つてそしておいしい朝のごはんを食べよう！と思った。